

協働で計画を推進していくための事業

目標を達成するために、18年度に特に力を入れて取り組んでいく7つの事業を設定しました。

地域課題チャレンジ提案事業の 予算枠を広げます

地域課題を区役所と区民とが協働して解決する地域課題チャレンジ事業の予算枠を広げます。区内で活動するボランティアグループ、NPO、市民活動団体、企業などからの福祉関係の提案を積極的に募集していきます。

障がいについての理解を深める ハートバリアフリー事業を進めます

地域住民や子どもたちが障がいについての理解を深めるために、地域住民や当事者等、さまざまな立場の人たちが一体となった啓発活動を進めます。

- ①当事者や福祉保健活動団体、社協、学校、地域、障がい者施設等で構成する「障がい者福祉教育ネットワーク(仮称)」をつくります。
- ②学校から地域までを総合的にとらえた福祉教育プログラムを作成します。
- ③福祉教育プログラムを元に学童や地域住民向けの継続的な福祉教育を実践していきます。

高齢者・障がい者等の災害弱者にも 安全なまちづくりに取り組みます

災害弱者となる要援護者を地域で把握し、災害時に支援ができるよう支援体制を整備します。
(モデル地区設定)

親子の居場所「はなまる」の運営を支援します

親子で自由に過ごせる親子の居場所「はなまる」の運営を支援します。「はなまる」では子育て情報の提供、育児サークル支援、子育て支援の人材育成などのほか、月1回障がい児の親子の居場所も開設しています。

「はなまる」を区民と協働で運営することにより地域での子育て支援の輪を広げ、活性化を図ります。

モデル地区を設定し、地域ボランティア 相談室を運営します

区社協で行っていたボランティア相談コーナーの役割を地区社協単位で行います。

ボランティアやボランティアコーディネーターの人材育成・強化に取り組み、地域でのボランティア活動や相談がより身近になります。

人材バンク「みどり ひと・まちナビ」に 福祉保健情報を掲載します。

より手軽に福祉保健情報を入手できるよう、地域の福祉保健活動団体やボランティア団体、市民活動団体、施設などの情報を検索できるインターネットホームページ「みどり ひと・まちナビ」を運営します。

地域ぐるみで認知症予防に 取り組みます

介護予防をすすめる一環として、認知症予防に取り組みます。

認知症サポーター(仮称)の養成を通して、地域に認知症の理解を深めていくとともに、発症や進行を予防できる取り組みを広げていきます。



※ここに掲載の事業は、平成18年3月の市会議決後に確定する予定です。